

J R 連合
 総がかりの運動を
 強く広く
 展開しよう!



J R 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
 1部20円 (但し組合費に含む)
 ●発行者 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook

JR連合

twitter

JR連合



4極構造打破に向けた運動を要請する松岡会長

J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会 J R 労働界一元化の実現に J R 連合加盟全単組が総決起

あるべき労働組合像・
 労使関係を掲げ奮闘していく

10月10日、J R 連合は「J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会」を都内で開催した。J R 連合及び各単組から総勢300人が結集し、J R 産業の発展のために、J R 労働界の一元化を実現し、真に自由にして民主的な労働組合と、健全で建設的な労使関係を構築すべく、全単組が総決起することを確認した。当日はJ R 連合国会議員懇談会から、会長の榛葉賀津也参議院議員、副会長の泉健太郎参議院議員、幹事の岸本周平衆議院議員と大串博志衆議院議員も駆け付けた。

冒頭、挨拶に立ったJ R 連合の松岡裕次会長は「J R 連合結成の経緯には、第3代会長が発した民主化闘争宣言から現在に至るまでを振り返り「未だに三極構造のままであり、多くの未加入者がいる現在では四極構造ともいえる状況」と語った。その上で、「ある

その後、J R 連合国会議員懇談会を代表して、榛葉会長が挨拶に立ち、「J R が担う安全安定輸送には①人の力、②技術の力、③健全な労使関係の3つが揃わなければ成り立たない」とし、J R 連合のさらなる活動の展開に対してエールを送った。続いて、立憲民主党、国民民主党、J R 連合国会議員懇談メンバー、与党議員などからのメッセージ、J R 連合としての取り組みを紹介した後、西岡研介氏から激励を受けた。西岡氏は「新たな局面を迎える中、これまでと違ったアプローチも必要である」と述べ、



西岡研介氏

九州地区本部でさらに1人加入 同じ職場で2ヶ月連続 勇気ある決断で貨物鉄産労へ

10月4日、J R 連合加盟の貨物鉄産労・九州地区本部が、先月に続いて、J R 総連・日貨労から脱退した九州保全センターの仲間1人を新たに迎え入れた。同じ職場で2ヶ月続けての貨物鉄産労への加入は、J R 東労組の組織瓦解を受け、J R 総連傘下組織である日貨労内が動揺していることを物語るものだろう。

J R 貨物会社の真のパートナーは J R 連合・貨物鉄産労である



榛葉賀津也会長

なお、翌日はJ R 7単組

革マル派の常套手段である蝸壺術で影を潜めるならば、「蝸壺を壊してタコを引つ張り出す」勢いで取り組むことが必要であると檄を飛ばした。



多くのマスコミから注目される中、J R 産業の発展にむけて意思統一を図るべく全国から大勢の仲間が結集し会場を埋めつくした

集会アピール

私たちは本日、「J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会」を開催し、すべてのJ R で、真に自由にして民主的な労働組合と、健全で建設的な労使関係の構築にむけ、全単組が総決起することを意思統一した。

J R 東日本内では今、労働界に大きな地殻変動が起きている。極左暴力集団「革マル派」が相当浸透していると指摘されているJ R 総連内の最大労組・J R 東労組では、2018春季生活闘争のスト戦術を端緒として組合員の大量脱退が発生し、組織瓦解が急速に進んでいる。また、J R 北海道やJ R 貨物においても、J R 総連傘下の第一組合によって、組合員不在の異常な運動が展開され続けており、そして歪な労使関係が深く根付き、「J R 革マル派浸透問題」は依然として解決には至っていない。

そもそも労働組合とは、働く仲間と家族を幸せにするための組織であり、組合員に寄り添った助け合いや世話役活動が原点である。仕事上の課題はもとより、私生活上の悩みや相談にも真剣に向き合い、仲間が生き活きと働き、豊かな人生を実現するために活動する組織である。

またJ R 産業は、多岐にわたる各系統・職種で働くすべての人が自らの職責を果たすべく誠実に動き、連携をすることで成り立っている。従って、会社内の組織間、系統間、職種間など、あらゆる上下関係・契約関係の中で「コミュニケーションエラー」「情報の目詰まり」が発生するのは常と言える。会社組織の縦の指揮命令系統だけではすべてを把握できないのが現実であり、様々な綻びが生じる危険性が潜んでいる。だからこそ、各職場で日々起きていることや、働く者が持つ課題認識および現状を改善する知恵を、感情も含めてタイムリーに汲み取り、職場実態に即した建設的な提言・チェック機能を行うのが労働組合の大事な役割なのである。

なお、そうした役割は、会社と敵対するためのイデオロギーを優先するような組織ではなく、組合員と会社の将来を真剣に考える、真に自由にして民主的な組織でなければ果たすことはできない。

まともな労働組合がきちんと機能し、会社が誠実に応えるという関係こそが、働く者の想いや行動を繋ぎ合わせ、安全を基礎とする健全なJ R の事業の運営と持続的な発展、ひいては、国民・利用者から信頼される社会的役割を果たすための基盤となる。こうした労働組合像・労使関係像こそが「あるべき姿」であり、J R 労使はその実現のために不断の努力を続けなければならない。私たちは1992年にJ R 総連と決別してJ R 連合を結成し、「あるべき労働組合像・労使関係像」を一貫して追求し続けてきた。そしてパートナーであるJ R 東海・西日本・四国・九州の各社との間で、この考え方を共有して誠実に向き合い、信頼関係を築きつつ歩んできた。

「あるべき姿」を実現できていない労使においても、今こそ最大のチャンスと捉え、真に自由にして民主的な労働組合の勢力を伸ばし、健全で活力のある職場、会社、労使関係を築かねばならない。そのためにも、J R 連合への結集＝「J R 労働界の一元化」を実現しようではないか。J R 連合のすべての組合員、関係者が一丸となって、J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築くべく、決起することをここに明らかにする。

2018年10月10日

日本鉄道労働組合連合会 (J R 連合)

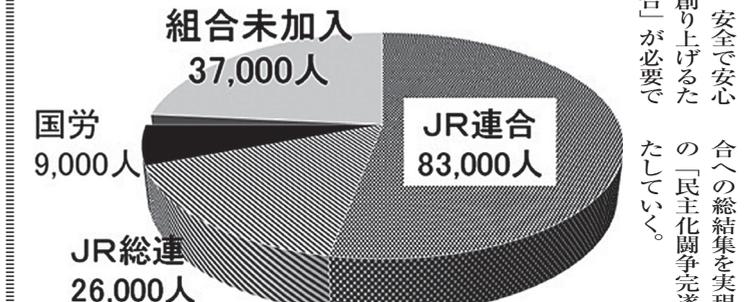
「J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築く総決起集会」

合同で都内などのJ R 職場前において、ビラ配布行動を実施した。

J R 連合はすべての組合員、関係者が一丸となって、J R 産業の発展にむけ民主的労働組合・労使関係を築くべく、総決起した。今後組織強化・拡大の取り組みを一層進め、J R 労働界の一元化を実現していく。

J R 東労組からの脱退者数は、9月初旬で約3万4000人という数字にまで膨れ上がった。本集会で講演した西岡研介氏によれば、大量脱退に至った原因として、「一義的には経営陣の判断」によって生まれた流れであるものの、「本質的にはJ R 東労組の方針やその運動内容に嫌気が差したのではないかと」している。

J R 産業は、多岐にわたる職種・職場によって構築され、グループ会社や協力会社とともに成り立っている産業である。そのような中で、会社組織の縦関係だけでなく、働く者同士の支え合い・助け合いを原点とする「労働組合」の横のつながりは不可欠であり、社



J R 労働界の組織人員(2018年9月現在)

民主化闘争 42 真の「民主化闘争完遂」にむけて

J R 東労組からの脱退者数は、9月初旬で約3万4000人という数字にまで膨れ上がった。本集会で講演した西岡研介氏によれば、大量脱退に至った原因として、「一義的には経営陣の判断」によって生まれた流れであるものの、「本質的にはJ R 東労組の方針やその運動内容に嫌気が差したのではないかと」している。

J R 連合は、本集会を契機として、組織の強化・拡大に弾みを付けていく。そして、J R 労働界のJ R 連合への総結集を実現し、真の「民主化闘争完遂」を果たしていく。



交運労協第34回定期総会 希望の持てる産業と 魅力ある働き方を 確立しよう

J R 連合が構成組織として加盟する全日本交通運輸産業労働組合協議会(交運労協)は、10月4日、都内で第34回定期総会を開催した。総会には J R 連合から J R E ユニオン・J R 東海ユニオンの仲間とともに代表者・傍聴者総勢15人が出席した。「交運労協の総力を結集し、希望の持てる産業と魅力ある働き方を確立しよう」をスローガンに掲げ、向こう1年間の方針を全体で確認した。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った住野敏彦議長は、

「私鉄総連」は、大規模地震、集中豪雨、大型台風による自然災害に連れ、多くの人命が奪われたことへの反省と、未だ生活の再建にむけて尽力する地域に対して、一日も早い復旧・復興を願った。一方、交通運輸産業においても多くの被害を受けたことから、一層の温暖化対策とともに、道路・河川といった社会資本を支援する公共インフラとしての必要性を訴えた。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。



九州地協第27回定期委員会
九州地協は、9月22日福岡市内で第27回定期委員会を開催した。「安全最優先の取り組みの高度化、政策課題の解決・前進を図り民主化闘争の完遂・J R 労

冒頭、九州地協を代表して挨拶に立った中原博徳議長(J R 九州労組中央執行委員長)は、

「自動車連絡会第26回総会」
J R 連合自動車連絡会は、10月2日、高松市内にて第26回総会を開催した。全国から代議員・傍聴者総勢24人が参加した。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

九州の地でも組織拡大に取り組む

九州地協第27回定期委員会
九州地協は、9月22日福岡市内で第27回定期委員会を開催した。「安全最優先の取り組みの高度化、政策課題の解決・前進を図り民主化闘争の完遂・J R 労

冒頭、九州地協を代表して挨拶に立った中原博徳議長(J R 九州労組中央執行委員長)は、

「自動車連絡会第26回総会」
J R 連合自動車連絡会は、10月2日、高松市内にて第26回総会を開催した。全国から代議員・傍聴者総勢24人が参加した。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。

また、総会には連合の逢見直人会長代行をはじめ、厚生労働省や国土交通省の中央省庁、立憲民主党、国民民主党等の政党代表、交運労協政策推進議員懇話会などから多くの来賓が出席、祝辞と連帯の挨拶を行った。



発言する北村労働政策部長



ことばで安全への取り組みを学び、バス産業の共通課題について意見交換を行う

ことばで安全への取り組みを学び、バス産業の共通課題について意見交換を行う

浮き彫りにされた 自然災害に対する課題を訴える

活動報告等の後、提起された活動方針を補強する立場から、J R 連合を代表して北村次労働政策部長が、

大規模自然災害への対応として、早期復旧支援拡充、防災・減災対策強化といった従前からの政策提言に加え、被災した鉄道設備の早

大規模自然災害への対応として、早期復旧支援拡充、防災・減災対策強化といった従前からの政策提言に加え、被災した鉄道設備の早

大規模自然災害への対応として、早期復旧支援拡充、防災・減災対策強化といった従前からの政策提言に加え、被災した鉄道設備の早

大規模自然災害への対応として、早期復旧支援拡充、防災・減災対策強化といった従前からの政策提言に加え、被災した鉄道設備の早

大規模自然災害への対応として、早期復旧支援拡充、防災・減災対策強化といった従前からの政策提言に加え、被災した鉄道設備の早

魅力あるバス産業の 構築にむけ意思統一

行委員長)は挨拶に立ち、西日本豪雨をはじめ、相次いで発生する自然災害について触れ、あらためて公共交通としての役割・使命を果たしていく決意を示した。

また、産別活動として、①「改善基準告示」の見直し

また、産別活動として、①「改善基準告示」の見直し

また、産別活動として、①「改善基準告示」の見直し

また、産別活動として、①「改善基準告示」の見直し

グループ 労組紹介

ジェイアール西日本広島メンテック労働組合
(J R 西日本連合)
ジェイアール西日本広島メンテック労働組合は、組合員の雇用を守り、より安心・安定した生活が出来るように賃金をはじめとする処遇の改善や安全に業務が行えるように職場環境の改善を図るため1996年7月1日に結成しました。

現在、執行部は12人で構成されています。今年の定期大会では、女性の副執行委員長を選任し、労働組合においても女性が活躍できる取り組みを進めています。

また、第5回目となる「賃金・労働条件等実態調査」の回収率向上についても議論した。

また、第5回目となる「賃金・労働条件等実態調査」の回収率向上についても議論した。

また、第5回目となる「賃金・労働条件等実態調査」の回収率向上についても議論した。

家族の幸せを災害から守る
火災共済 + オプション保障
火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障 + 修理費用

※借家にお住まいの方のみ

オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険株式引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
火災共済 (JR圏域生協)
全日本交通運輸産業労働者共済生活協同組合

B1424401E2144-20150209

大会での団結ガンバロウ